

令和3年3月1日撮影

## 普通科第73回・理数科第51回卒業式

春の訪れを少しずつ感じさせてくれた2月下旬の天候を引き継ぐ形で、曇りではありませんでしたが、無事卒業式が行われました。来賓をお断りし、保護者の方も1名だけ、職員にいたっては、翌週に控えた高校入試に備えて3年部と少数の職員のみで行うという、昨年以上に異例の卒業式でした。参加できなかった職員からは、式の後にビデオメッセージで贈る言葉が紹介されました。新しい大学入試制度に翻弄され、さらにコロナ3年生たちは、担任にお礼の言葉を伝えながら、元気に学び舎を後にしていました。



## サイエンスコミュニティ研究校発表会



東北地区6県のスーパー・サイエンス・ハイスクール指定校など、理数系の課題研究に積極的に取り組んでいる高校生が授業や部活動で取り組んできた研究成果を発表し、発表者との対話を通じて相互交流・評価を行うことで、切磋琢磨しこれからの活動や研究の質・

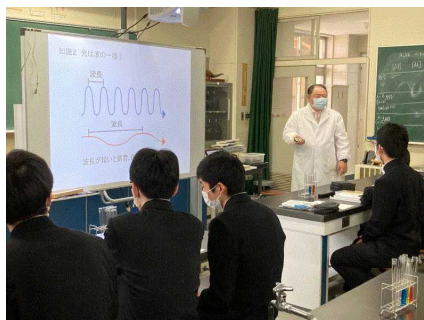
量の両面で活性化を図ろうとする目的で毎年開催されています。今年は岩手県奥州市で1月29日（金）・30日（土）の二日間にわたり開催されました。参加校は19校でしたが、本校を含めて約半数の8校がオンラインで参加しました。

## 災害時に備えて…



東日本大震災から10年を迎えようとする3月4日（木）、1年生の家庭基礎の授業では食品の備蓄についてどうすべきか学ぶというねらいで非常食を作る調理実習が行われました。授業では、普段から少し多めに食材や加工品を購入しておき、使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておく「ローリングストック」法を学びながらの実習でした。熱湯を注ぐだけで握らず（！）にできるおにぎりや、じゃがりこ（！）を用いたサラダ、杏仁豆腐やマンゴーゼリーなどから作るパックゼリーなどを作り、もちろんその後は味わいながら、災害時の家庭備蓄について学習していました。

## 最終講義



春は、別れと新しい出会いの季節です。菅原勉校長が、37年間の教員生活を終え退職します。3月18日、2H理数科の生徒たちを対象に最後の実験授業を行いました。テーマは「色」。光とインクの色を理解し、関係性を説明できるようになることを本時の目標に、わかりやすい説明はもちろんでしたが、実験を巧みに織り込み、2時間連続の授業はあっという間に終わってしまいました。多くの職員らも校長最後の授業を一目見ようと駆けつけました。「なぜ空は昼は青く、夕方は赤くなるのか」などといった練りに練られた発問は、最後まで生徒を引きつけていました。授業の終わりには2Hから予期せぬ贈り物が渡され、拍手の中で最終授業終了のチャイムが鳴りました。長い教員生活お疲れ様でした、校長先生！

〒017-0813 大館市金坂後6番地  
Tel 0186-42-0002 FAX 0186-49-2044  
HP: <http://www.homei-h.akita-pref.ed.jp/>